

令和4年 第13回 当別町教育委員会定例会議事録

日 時 令和4年11月25日(金) 午後3時30分
 場 所 役場3階 中会議室
 出席者 三澤教育長、武岡教育長職務代理者、寺田委員、小林委員、佐々木委員
 出席職員 大畑教育部長、山田教育委員会参与、高田学校教育課長、川村学校教育課参事、
 石川社会教育課長、山下子ども未来課長、玉木学校教育課主幹、木村給食センター係長
 傍聴者 なし

<p>【開会の宣言】 教育長</p>	<p>ただ今、委員全員出席しておりますので、これより令和4年第13回当別町教育委員会定例会を開催致します。</p>
<p>【議事日程】 教育長</p>	<p>日程につきましては、各委員に配付しています日程表により議事に入ります。</p>
<p>【日程第1】 教育長</p>	<p>日程第1、報告第1号を上程致します。 提案の説明を求めます。 教育部長。</p>
<p>教育部長</p>	<p>(提案の説明) 只今、議題となりました報告第1号 臨時代理の報告につきまして、提案の説明を申し上げます。 議案書につきましては、1頁から2頁までをご高覧下さい。本件は、令和4年11月1日付け教育委員会事務局職員の人事異動について臨時に代理したので、委員会に報告するものであります。 詳細につきましては、議案書の2頁に記載の「教育委員会事務局職員の人事異動調書」とおりであります。教育委員会参与に山田が着任しております。 よろしく、ご審議をいただきまして、ご承認をお願いいたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>ただ今、提案説明がありましたが、何か、ご質問等はございますか。 なければ、質疑を打ち切り、報告第1号は原案のとおり承認してご異議ございませんか。 (「異議なし」の声) 異議なしと認め、委員全員の賛成を得ましたので、報告第1号は原案の</p>

	とおり承認致しました。
【日程第2】 教育長	日程第2、報告第2号を上程致します。 提案の説明を求めます。 教育部長。
教育部長	<p>只今、議題となりました報告第2号 令和4年度全国学力・学習状況調査報告書の作成につきまして、提案の説明を申し上げます。</p> <p>議案書につきましては、3頁と別冊をご高覧ください。</p> <p>令和4年度 全国学力・学習状況調査について当別町の調査分析結果を報告書にまとめたので、委員会に報告するものであります。</p> <p>よろしく、ご審議をいただきますよう、お願いいたします。</p> <p>なお、詳細につきまして、学校教育課参事より説明いたします。</p>
学校教育課参事	<p>別冊「令和4年度 全国学力・学習状況調査報告書」をご高覧ください。</p> <p>1頁には、本調査の目的、内容などを掲載しております。小学校の分析について、2頁をご高覧ください。1の教科ごとの平均正答率は、当別町全体として、各教科8ポイント以上、全国の平均正答率を下回る結果となりました。2の領域別の正答率につきましても、特に、国語「書くこと」、理科「粒子」の分野の落ち込みが大きいものの、全体的に憂慮される結果として捉えております。</p> <p>3頁をご高覧ください。3の「全国の下位約25%と同じ正答率の範囲に含まれる児童の割合」では、下位層が全国に比べて10ポイント以上多いことがあげられます。5の「教科ごとの結果概要」の各教科において、下位層を含めた6年生の学力の底上げに一層取り組む必要があると捉えております。6の改善策については、4～9頁の児童質問紙の内容も踏まえたものとなっておりますので、先に4頁をご高覧ください。</p> <p>4頁からは、生活習慣や学習環境等について、全国と比較し「優位な項目」と「改善が必要な項目」で特徴的な傾向を掲載しております。【国語の学習】では、「国語の勉強は好きですか」「国語の授業の内容はよくわかりますか」という項目が全国より約6ポイント低い結果でした。</p> <p>【算数の学習】では、優位な3つの項目から、算数での「興味関心や学ぶ意欲」が育っていると捉えております。一方で、学びを日常生活に結び付け、解決する喜びや楽しさを味合わせることの必要性があると考えます。</p> <p>5頁の【理科の学習】では、対話活動や実験などの制限もあり、「理科の勉強は好きですか」という項目が低い結果となりました。</p> <p>6頁は、「家庭学習」「基本的な生活習慣」についてです。全国と比べて</p>

優位となった「学校以外の学習時間（平日）における1時間以上勉強している」児童が昨年 - 1. 9ポイントでしたが、プラスに転じ、学習習慣の改善が図られました。反対に「学校が休みの日の学習時間が2時間以上勉強している」児童は昨年 + 24. 7ポイントでしたが、今年度は - 9. 2ポイントと減少の傾向をなりました。

また、メディアとの付き合い方には、家庭内のルールが十分なされていない側面と、ゲームなどの使用時間が全国に比べて高く、「就寝時刻の遅れ・朝食を抜くなど生活習慣の乱れ」にも繋がっている結果となりました。自宅で過ごす時間の増加等の影響もありますが、生活習慣、メディアとの付き合い方について課題が見られます。

7～8頁【指導に関わる項目】は、5年生までに受けた授業全般に関する内容です。優位な項目が多く、授業について前向き、好意的に捉えていることがわかります。昨年よりも大きく上昇した項目として8頁「学級活動・道徳での話し合い活動」で、課題解決に協働的に取り組む学びが進められています。改善の必要な項目で、「5年生時におけるタブレットなどの活用」では、授業中における調べ活動、友達との意見交換での活用など課題があると捉えています。

9頁【その他】です。「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」という項目が優位であるものの、「自分には、よいところがあると思いますか」等の項目から、自己肯定感・自己有用感が低いことに課題が見られます。

以上の結果を踏まえ、3頁下段の6の改善策では、委員会として、20頁の「当別町学力向上プラン」にある通り、授業改善への支援、教職員の資質向上への支援、授業外の学習支援、各校の学校改善プランの実践支援の4点を柱に進めてまいります。特に、一人一台端末に導入される「学習eポータル」と連携したメクビットの活用やAIドリルによる学習支援を進めること。

また、下位層の困り感に寄り添った個別最適な学びによる学ぶ意欲を引き出すこと。「課題探究型授業」に向けた授業改善を推進してまいります。

また、家庭における「学習とメディアの活用」にあたっては、保護者も一緒に向き合っていけるよう啓発を続けていきたいと考えます。

次に10頁は、「中学校の分析」となります。1の教科ごとの平均正答率は、後日実施のとうべつ学園9年生を含めた結果です。【数学】は、2ポイント下回りましたが、【国語】で0. 3ポイント、【理科】で3. 1ポイント全国の平均正答率を上回りました。特に国語の「書くこと」、理科の「エネルギー」領域においては、全国よりも10ポイント以上上回り、学びの成果が表れました。

11頁「全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合」では、国語、数学で下位層が若干多い傾向です。5の教科ごとの結果概要において、特に【数学】の「数と式」領域では、「整数の性質の理解を深める活動」や「予想した事柄が成り立つかどうか具体例を挙げて知らべる活動の充実」が必要と捉えています。6の改善策は、12頁以降の生徒質問紙の結果を踏まえてお話しいたします。

12頁【国語の学習】です。「国語の勉強は好きですか」という項目はよい結果でしたが、改善項目から、生徒の自己評価の低さや社会に出た時の活用について前向きに捉えられていない現状が見て取れます。

13頁【数学の学習】です。全国と比べ優れた項目が多く、「数学への興味関心・探求意欲」が高いのは大変素晴らしいことです。

14頁【理科の学習】です。専門的な教師の指導により、理科の興味関心が高まり、思考力・判断力・表現力にも繋がっている傾向が見られます。ただ、国語と同様、得点は良いものの生徒の自己肯定感の低い現状が見られ課題と捉えています。

15頁【家庭学習】です。家庭学習の平日、土日における学習時間においては習慣化が見られるものの、量と質についての課題があります。

16頁【基本的生活習慣】です。小学生と同様に、メディアの利用において家庭内のルールが十分なされていない側面と、ゲーム等の使用時間が全国に比べても高く、就寝時刻の遅れなど生活習慣の乱れにつながっている結果となりました。

17頁【指導に関わる項目】は、タブレットの日常使いについて全国に比べても課題が見られます。

19頁【その他】です。「やり遂げる力」「挑戦する力」「他者と協働する力」等が培われていると捉えています。しかし、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」「学校に行くのが楽しい」という項目が、全国を下回る結果となりました。

以上の結果を踏まえ、11頁下段の6の改善策として、「当別町学力向上プラン」を基に、各校の学校改善プランを支援するとともに、タブレット等の活用は、町教委としても強く推進し、併せて教職員研修等の充実によりICT活用力も高める必要があると捉えています。同時に生活習慣、メディアとの付き合い方についても、保護者も一緒に向き合っていくよう啓発を続けていきたいと考えます。

また、とうべつ未来学の3本柱（ふるさと教育、国際理解教育、キャリア教育）を推進し、将来の夢や目標に向かう生徒の背中を押す教育を推し進め、生徒と向き合う時間、細やかな教育相談体制も含めた生徒指導の改善に取り組んでまいりたいと考えております。

以上で、報告書の説明といたします。

	<p>なお、本報告書につきましては、本日の委員会でご承認をいただいたのち、ホームページで公表させていただきます。</p>
教育長	<p>只今、提案説明がありましたが、何か、ご質問等はございますか。</p>
武岡委員	<p>(数値の修正について、指摘事項あり)</p> <p>膨大な資料を細かく数値を出していただき、ありがとうございます。小学校の理科は専科指導をしている割に低いですが、中学校に行くと元通りになっており、専科の指導法がどうなのかが気になりました。先生は、どのような状態で授業をされているのか、準備や後始末の時間が保障されているのかどうか、足りないとしたら、周到な準備ができないまま授業をされていることも考えられます。そのあたり小学校の現状を教えてくださいたいです。</p>
学校教育課参事	<p>令和3年度は、当別小学校に理科専科が配置されていましたが、コロナの拡大もあり、対面での対話学習や理科室で集まったの学習がほぼできませんでした。そのため、テレビを見て学習をしたり、教員の行う実験を見ることが昨年度は主となっております。理科の準備等は専科でしたので十分に時間があり進めておりましたが、学習内容としては、理科の実験などがなかなか進まなかったという現状があります。その反面、中学校の結果が良かったというのは、昨年度私も中学校の授業を見ていないのでお答えすることができませんが、小学校の現状はそのようなものでした。</p>
小林委員	<p>全体的にICT機器の言葉がちりばめられていますが、学力にどのような効果が出るかということの記載がされていません。タブレットを使うとこのような学習効果があるということを改善策に書いた方がわかりやすいと思います。また、先生に対しても児童生徒に対してもどのような効果が出るのかをもう少し書いた方がいいと思いますし、保護者にもわかりやすくした方がいいと思います。</p>
学校教育課参事	<p>タブレットやICT活用はあくまでも主体的・対話的学びの手段と書いてありますが、先ほど言われた効果というところも検討しながら、より詳細に記載したいと思います。</p>
小林委員	<p>昨年来から言っておりますが、インターネットの保護者等への指導が記載されていますが、どういった啓発をしていくかの記載がありません。保護者がこれを見てもっとわかるようにしていただきたいです。</p>

武岡委員	<p>国語の書く領域の正答率が非常に低いです。改善策には、振り返りを大事にしたいとあり、振り返りも大事ですが、国語だけではなく、算数や理科や社会等の他の教科においても自分の考えをノートに書かせる場面をとることを意識してやらないと、子どもには書く力が育たないと思います。国語の書く力については、すべての教科を通して、書くことをもっと大事にしようとなればいいなと思います。併せてノート指導もとても大事だと思います。先生方は大変だと思いますが、ノート指導、書く指導を鍛えていただければと私は思っています。</p>
学校教育課参事	<p>インターネットに関しては具体的にどのような啓発を家庭にできるか確認しながら進めてまいります。書くことについては、振り返りでしっかり書くことを取り入れながら、文字数の制限をするなど条件を指定することも学習調査では求められることですので、各教科を通して推進してまいりたいと考えております。</p>
寺田委員	<p>「スマートフォンの使い方について、家族との約束は守っていますか」との質問があります。子供たちがどう思って答えているのか、家庭は約束しているけど子供が守っていないのか、約束がないと思って回答しているのか等、その辺はもっと分析をしないとわからないのかなと思いました。子供たちの自己肯定感が低いのは、全国的な傾向ですが、この結果を見て、どうするかを真剣に考えなければいけないと思います。ここは上げていかなければならない数字だと思います。19頁の「将来の夢や目標を持っていますか。」というところで、将来の夢や目標をしっかり持たせるように指導していきたいとあります。小中学生のキャリア教育は大事だと思っていますが、周りが夢を見つけた時に自分の夢を見つけられなければとても焦るだろうなど。指導することは大事ではありますが、同時に焦らなくてもいいということも含めて指導してほしいと思いました。</p>
学校教育課参事	<p>生徒指導に関しては、関わる大人の影響はあると思います。学校現場で様々なチャレンジをする場면을意図的に仕掛けることで、日々の実践の中で将来の夢や自己肯定感も含めて育成できる取り組みを進めることが大切と考えております。</p>
武岡委員	<p>「主体的・対話的で深い学び」「アクティブラーニング」「課題探求型の授業」の表記について、教師は理解できますが、一般の方はよくわからないと思います。保護者にもわかりやすい表現の方が一般向けにはいいのかなと思いました。A Iドリルを取り入れていただける方向性で考えていただいているのはありがたいと思います。劇的に子どもの学習意欲が変わ</p>

<p>教育長</p>	<p>と思っています。地道に取り組んで、子供たちの学力向上につながればいいなと思っています。</p> <p>この報告書は、教育委員会としての分析と次に向かってどうしていくかの改善策としてまとめられていますが、教育委員会と学校の認識に少々隔たりがあり、お互いに伝え合うコミュニケーションが不足していると感じています。来年の課題としては、お互いがそれぞれの立場で課題を感じていることを共有して、最終的に子供たちのためという一つの目標に向かって一緒に進んでいける関係性を構築していくことが非常に大事だと思っています。それがなければ、教育委員会は教育委員会で目標を作りました、学校は学校で課題に向き合っていますと、すれ違ったままで進んでいくことは決して効果が上がらないと思っています。そこにPTAの方も入っていただき、皆で課題を見つけ、それを一緒に克服していく姿を作りたいと思っています。委員の皆様にも様々な形でご協力をいただきたいと思っています。</p> <p>他に質問はございませんでしょうか。</p> <p>なければ、質疑を打ち切り、報告第2号は一部修正を加えまして原案のとおり承認してご異議ございませんか。</p> <p>（「異議なし」の声）</p> <p>異議なしと認め、委員全員の賛成を得ましたので、報告第2号は一部修正を加えまして承認致しました。</p>
<p>【日程第3】 教育長</p>	<p>日程第3、議案第1号を上程致します。 提案の説明を求めます。 教育部長。</p>

<p>教育部長</p>	<p>(提案の説明)</p> <p>議案第1号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価につきまして、提案の説明を申し上げます。</p> <p>議案書につきましては、4頁をご高覧ください。</p> <p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づく、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について、別冊のとおり報告書(案)を作成しましたので、これを議会に提出するとともに、公表することについて、委員会の議決を得ようとするものであります。</p> <p>よろしく、ご審議をいただきますよう、お願いいたします。</p> <p>なお、詳細につきまして、学校教育課長から説明いたします。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>ご説明申し上げます。</p> <p>議案書につきましては、4頁となりますが、別冊の令和3年度実績並びに令和4年度中間実績 当別町教育委員会点検・評価報告書(案)をご高覧いただきながら説明いたします。</p> <p>本報告書(案)につきましては、委員各位からいただきましたご意見等を踏まえまして、追加、修正を行っております。</p> <p>表紙をめくり、目次をご覧ください。</p> <p>「第1章 点検及び評価の概要」から「第4章 外部評価」までと資料編による構成となっております。</p> <p>1頁の「第1章 点検及び評価の概要」と2頁の「第2章 教育委員会の活動状況」は前年度と同様のつくりになっておりますので、説明を省略させていただきます。</p> <p>また、3頁から10頁には、定例会での審議案件が記載されており、3頁の令和3年度の議決案件は45件、協議案件18件、報告案件92件、8頁の令和4年度9月末までにつきましては、議決案件6件、協議案件3件、報告案件38件の審議と報告が行われたところであります。</p> <p>11頁から12頁は、令和3年度と令和4年度9月末までの定例会以外の活動状況となり、会議が10件、研修が10件、行事が11件、それぞれに参加しました。</p> <p>次に、13頁をご高覧ください。</p> <p>「第3章 当別町教育推進計画重点的取組の点検及び評価」ですが、令和3年度及び令和4年度における重点的取組を記載しております。13頁から71頁に掲載しておりますが、昨年と掲載方法を見直ししております。</p> <p>13頁をご覧ください。</p> <p>昨年は、分野ごとにまとめた掲載をしておりましたが、今年度は、年度別の分野別に掲載しており、関係資料は評価の最後にまとめて掲載しました。</p>

	<p>見直し理由としては、今年度までの「当別町教育推進計画」のつくりは、各課ごとの縦割りで分類された計画でしたが、次年度は各分野でもつ課題を教育委員会全体で共通認識を持ち、今まで以上に意識し合い、連携して取り組むために、重点課題別に掲載する方向で現在作業を行っております。そのため今回の点検・評価では、令和5年度を見据えた形で変更させていただきましたのでよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、令和3年度の重点取り組みは、分野ごとに14頁から30頁に、令和4年度の重点取り組みは、分野ごとに31頁から40頁に掲載しております。</p> <p>また、関係する資料につきましては、41頁から71頁までに掲載しております。</p> <p>次に、72頁から77頁は、「第4章 外部評価」であります。外部評価委員の元中学校校長 冷川 元彦 氏、北海道医療大学教授 浜上 尚也 氏の2名の方からいただいたご意見やご助言を掲載し、それに対する「今後の取り組みの考え方」を掲載しております。</p> <p>この点検・評価報告書における振り返りやいただいたご意見を生かし、絶えず改善を行いながら、引き続き教育の質の向上に取り組んでいくとともに、今後のより良い教育に向けて、計画的に教育施策を推進してまいります。</p> <p>最後になりますが、78頁から81頁につきましては、資料編として委員名簿、令和3年度、令和4年度の当別町教育推進計画、教育関係予算を添付しております。なお、委員各位からいただきました質問につきましては、別にまとめて回答しておりますのでご高覧願います。以上です。</p>
教育長	<p>只今、提案説明がありましたが、何か、ご質問等はございますか。</p>
小林委員	<p>38頁の民間のノウハウとは具体的には何かとの質問をし、回答をいただきましたが「ノウハウ」はいらぬかと思ひます。</p>
山下課長	<p>ノウハウの記載を改めさせていただきますと思ひます。</p>
武岡委員	<p>学校教育指導主事による助言ですが、今年何回くらい指導の要望があつたかを教えていただきたいです。</p>
学校教育課参事	<p>具体的な数字は持ち得ていませんが、本年度、不登校などに関わつて求めに応じて訪問しております。</p>
武岡委員	<p>教師の授業力をアップさせるには指導主事の方に指導していただくのが効果的だと私は思っています。管内の学校の状況や局への指導主事訪問</p>

<p>学校教育課参事</p>	<p>の状況を教えていただきたいです。</p> <p>公開授業の際には、局に指導主事の訪問を要請しています。学力調査の報告書にも授業改善に関する記載をしており、指導主事の訪問を次年度は今年度以上に回数を増やし、授業改善の指導助言を繰り返していかないと身につかないと考えています。指導主事訪問の回数もしっかり検討しながら、学校の求めだけではなく、ここは改善が必要という学校への訪問を進めてまいります。</p>
<p>武岡委員</p>	<p>石狩教育局の指導主事を要請することは、現状どうでしょうか。</p>
<p>学校教育課参事</p>	<p>昨日とうべつ学園に局から指導主事の訪問がありました。12月2日には西当別小学校で研究授業が行われますが、その際にも指導主事を要請しております。</p>
<p>武岡委員</p>	<p>頻繁ではありませんが来ていただいているということがわかりました。引き続き指導助言をしていただけるように前向きにお願いできたらと思います。</p> <p>児童生徒支援の充実ですが、学校運営協議会との連携についての記載がありません。項目がここにしかなく、委員会も管轄しているので、何か記載があったほうがいいのではないかと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>私から点検評価について、委員の皆様にお話をさせていただきたいと思います。点検評価の報告時期は、1年半遅れた状況となっております。1年間の教育委員会や学校の歩みをすべて振り返り、冊子としての資料を提供して皆さんに評価をいただくとなると、このよう時期となり、タイムリーかどうかということです。法的には点検評価に関して具体的な評価方法が示されてはおりません。1年に1回評価をして、評価の結果を議会に報告するとのルールはありますが、どのようにしなさいと書かれていませんので、各教育委員会に任されている状況です。すべてを網羅する、新しい取り組みに特化してそこを評価する、すべてをチャート式にして箇条書きや特色のあることについて評価をいただくなど、各自治体様々な方法があります。</p> <p>私からの提案も含めてですが、来年に向かって、教育委員の皆様にもご協力いただいて点検評価のやり方を変えようと思います。タイムリーで深い評価ができればと思います。資料については改めて作成するのではなく、当別の教育や学校で作成している資料を活用しながら効率的な方法に変えて点検評価を行いたいと考えます。</p>

<p>小林委員</p> <p>学校教育課参事</p> <p>教育長</p>	<p>評価の中身や方法を教育委員の皆様と事務局職員が共有して作っていくことが、プロセスとしては正しいと思います。来年以降はこの点検評価の在り方自体を皆様と協議させていただきます。</p> <p>I C Tの活用状況については、写真の掲載もありますが、どのような話し合いができて、どのような方向にまとまったか等が具体的に分かれば文言だけでもいいと思います。</p> <p>I C Tの活用については、教員の長期休業中の研修だけではなく、複数回、校内の研修も行いながら、具体的にどのような場面でどう使うかというところも併せて深めていかなければならないと問題意識も持っておりますので、しっかりと進めてまいります。</p> <p>他に質問はございませんでしょうか。</p> <p>質問がなければ、質疑を打ち切り、報告第3号は原案のとおり承認してご異議ございませんか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p> <p>異議なしと認め、委員全員の賛成を得ましたので、報告第3号は原案のとおり承認致しました。</p>
<p>【日程第4】</p> <p>教育長</p>	<p>日程第4、協議案第1号を上程致します。</p> <p>提案の説明を求めます。</p> <p>教育部長。</p>
<p>教育部長</p>	<p>(提案の説明)</p> <p>只今、議題となりました</p> <p>協議案第1号 令和4年度12月補正予算につきまして、提案の説明を申し上げます。</p> <p>議案書につきましては、5頁から8頁までをご高覧ください。本補正予算は、一般会計の歳入 16款 国庫支出金において255万3千円を増額し、歳出 3款 民生費(子ども未来課所管分)におきまして、127万7千円を増額し、9款 教育費におきまして、2,661万5千円を増額しようとするものでございます。</p> <p>さらに債務負担行為の補正について、当別町子育て支援センター運営業務委託として令和4年度から令和7年度まで、限度額を3,010万5千円に設定しようとするものでございます。よろしくご審議をいただきますよう、お願いいたします。</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>なお、詳細につきましては、学校教育課長、社会教育課長、子ども未来課長から説明します。</p> <p>ご説明申し上げます。</p> <p>議案書の5頁から8頁をご高覧ください。歳入 16款 国庫支出金 2項 国庫補助金 6目 教育費国庫補助金の「理科教育設備整備等補助金」ですが、交付内示が当初予算に間に合わず、補正対応する考えでしたが、この度、補助金交付決定をいただきましたので、255万3千円増額しようとするものです。</p> <p>歳出 9款 教育費 1項 教育総務費 5目 学校給食費におきまして、燃料費 75万2千円増、光熱水費 289万2千円増、9款 教育費 2項 義務教育費 1目 学校管理費におきまして、燃料費 130万4千円増、光熱水費 1,480万7千円をそれぞれ増額しようとするものです。</p> <p>内容につきましては、灯油、重油、電気料の価格改定に伴うもので施設の暖房用の燃料や電気料が不足したことから増額するもので、給食センターでは、燃料及び電気料で364万4千円増額し、学校施設に関しては、燃料及び電気料で1,611万1千円を増額するものです。</p> <p>特に、電気料に関しましては、旧当別小学校が急遽ワクチン接種会場として使用されることになったこと、とうべつ学園に関しては、換気システムの動力に係る電力量が見込み以上に必要であったことから大きな補正額となりました。</p> <p>次に9款 教育費 2項 義務教育費 2目 教育振興費におきまして財源更生をするものであります。</p> <p>先ほど歳入で説明しました、理科教育振興備品の購入における国庫補助金が確定したので、国庫補助金255万3千円を充当し、その分一般財源を減額する財源更生であります。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>社会教育課長</p>	<p>引き続き、社会教育課所管分についてご説明申し上げます。</p> <p>議案7頁 歳出でございます。</p> <p>9款 教育費 3項 社会教育費 2目 社会教育施設費を299万8千円、9款 教育費 4項 保健体育費 2目 プール運営費を31万4千円、9款 教育費 4項 保健体育費 3目 社会教育施設費を354万8千円を各々増額しようとするものです。</p> <p>内容と致しましては、先ほどの学校教育課と同様に燃料費、電気料等の単価高騰に係る増額で、当別町学習交流センター、西当別コミュニセンター等の燃料費47万8千円、電気料252万円、水泳プールの電気料31万4千円、総合体育館の燃料費91万1千円、電気料263万7千円が</p>

<p>子ども未来課長</p>	<p>増額となっております。 以上でございます。</p> <p>子ども未来課所管分についてご説明申し上げます。議案7頁をご覧ください。</p> <p>歳出ですが、3款 民生費 2項 児童福祉費におきまして、127万7千円の増額補正を計上しております。これは、電気料金および灯油の高騰により増額補正するものです。内訳ですが、4目 子育て支援センター費において、認定こども園おとぎのくに内で実施している子育て支援センターにかかる光熱水費の負担金3万円の増額、5目 子ども発達支援センター費において、光熱水費27万8千円の増額、6目 子どもプレイハウス費において、暖房用燃料費4万4千円、光熱水費92万5千円の増額補正を計上しております。</p> <p>歳出については以上であります。</p> <p>続きまして、8頁 債務負担行為の補正ですが、当別町子育て支援センター運營業務委託として、令和4年度から令和7年度まで3,010万5千円を計上するものであります。</p> <p>現在、子育て支援センターを「ゆとろ」と「おとぎのくに」内の2箇所で開催しておりますが、おとぎのくに内で開設している1か所のセンター運営を令和5年4月から令和8年3月までの3年間委託するため補正するものです。</p> <p>委託の目的ですが、民間の活力を活かして、より充実した活動と、こども園内で開設していることから、在園する子どもたちや教諭との顔合わせや交流が自然にできき、入園後も支援センターの先生が常にいる安心感から家庭生活から円生活への移行が円滑にできることを狙ったものであります。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>教育長</p>	<p>只今、提案説明がありましたが、何か、ご質問等はございますか。</p> <p>なければ、質疑を打ち切り、報告第4号は原案のとおり承認してご異議ございませんか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p> <p>異議なしと認め、委員全員の賛成を得ましたので、報告第4号は原案のとおり承認致しました。</p>

<p>【閉会の宣言】 教育長</p>	<p>以上で、本日の日程は、全て終了致しました。 令和4年第13回当別町教育委員会定例会を閉会致します。</p>
<p>教育長</p>	<p>引き続き、事務局から報告・連絡等をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆教育部長より説明 <ul style="list-style-type: none"> ○コロナの感染状況について ◆学校教育課課長より説明 <ul style="list-style-type: none"> ○当別町立学校の教育職員に係る時間外在校等時間（超過時間）について（4～9月分） ○令和5年度予算について ○給食費の改定について ◆学校教育課参事より説明 <ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度当別町教職員冬季研修会開催について ◆社会教育課長より説明 <ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度（第15期）当別町小中高大生TOWNミーティングについて ○令和5年 当別町はたちのつどいについて ◆子ども未来課長より説明 <ul style="list-style-type: none"> ○こどもプレイハウスのアンケート結果について ○認定こども園おとぎのくに園舎建て替えについて
<p>教育長</p>	<p>次回の定例会の日程ではありますが、令和4年12月21日（水）午後2時00分から、役場1階大会議室での開催を予定していますので、よろしくをお願いします。</p> <p>以上で、全てを終了させていただきます。お疲れ様でした。</p>

閉会 午後 5時45分

上記会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

当別町教育委員会 教 育 長

教育長職務代理者